

外交アネクドット 第5回

「アネクドット anecdote」とは、奇聞・逸事を意味します。
この連載では外交にまつわる海外の小話を紹介します。



在米ジャーナリスト 高濱 賛

あのビル・クリントンが ホワイトハウスに帰ってきたぞ

David Letterman: "I'm watching a press conference and all of a sudden there is President Obama and then the next thing I know, there's Bill Clinton, who speaks for an hour. And I'm thinking, wait a minute, I remeber when Obama was president."

「記者会見をテレビで見てたんだけど、突然オバマ大統領が出てきたと思ったら、次に登場したのが何とビル・クリントン元大統領。彼、1時間も喋っていた。その時ふと、そういうええ、かつてオバマなんていう大統領がいたなあ、ついうことを思い出したよ」（デイビッド・レターマン氏の政治風刺漫談「CBSテレビ「レイト・ショー」より）

米民主党リベラル派が強硬に反対してきた富裕層（年収25万ドル超）向けの「ブッシュ減税」継続を認めてしまったオバマ大統領。その代わりに中間所得層の減税を恒久化して、共和党から実をとり、「景気のテコ入れをした」と弁明したものの民主党内も世論も冷やかな反応。そこで持ち出したのは、依然として米国民の間に根強い人気があるビル・クリ

ントン元大統領の応援だった。

2010年12月14日のホワイトハウスに予告なしにオバマ大統領と一緒に記者会見室に姿を見せたクリントン氏。バブル崩壊後の日本の経済を引き合いに出して、「われわれは日本のように（景気後退へ）逆戻りしてはならない」と、今回オバマ政権が打ち出した景気回復法案の早期成立を呼び掛けた。

クリントン氏は政権当時、共和党との対話と妥協を繰り返してきただけに、往時を懐かしがる人も少なくなく、オバマ大統領の議会対策のまづさを指摘する人が少なくない。

（たかはまたとつ）

